

国 語

科目名	単位数	学 科	学 年
国語総合	5単位	普通科	1 年

教科書	標準国語総合 (第一学習社)	副教材	最新国語便覧 (浜島書店)
-----	----------------	-----	---------------

科目の目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	現代文 随想(一)「スイッチをOFFにすることから始める。」 小説(一)「羅生門」 古 文 古文入門「児のそら寝」 古文に親しむ「なよ竹のかぐや姫」 漢 文 漢文入門「訓読に親しむ」 故事成語「五十歩百歩」「矛盾」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者が感じ、考えていることを読み取る。</li> <li>・古文の文章に慣れ、基本的な文法事項を理解する。</li> <li>・漢文の句法を理解する。</li> </ul>
2 学期	現代文 評論(一)「水の東西」 詩「道程」「二十億光年の孤独」 随想(二)「黄色い花束」 評論(二)「コミュニケーションは創造的に」 小説(二)「卒業ホームラン」 古 文 説話と随筆「徒然草」「伊勢物語」「土佐日記」 漢 文 漢詩の鑑賞「静夜思」「春望」「香炉法峰下新ト山居草堂初成偶題東壁」 史伝を読む「鶏口牛後」「先従隗始」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論や随想を読み、文章構成や要旨等を的確にとらえる。</li> <li>・詩や小説を読み、作品世界や登場人物の心情を味わう。</li> <li>・古文の内容が正確に読み取れるようにする。</li> <li>・漢詩を味わい、史伝の内容を理解する。</li> </ul>
3 学期	現代文 短歌と俳句「清水へ」「手毬唄」 評論(三)「イースター島になぜ森が～」 小説(三)「夢十夜」 古 文 和歌と俳句「万葉・古今・新古今」「奥の細道」 漢 文 中国の思想「論語」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌、俳句を鑑賞し、創作の態度を養う。</li> <li>・和歌に関する知識を学び、作品世界を味わう。</li> <li>・論語を読み、現代に通じる思想を読み解く。</li> </ul>
学習のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代文、古文、漢文ともに繰り返し音読し、正確に読めるようにしよう。</li> <li>2 文章の構成、筆者の意見、登場人物の心情等が読み取れるようにしよう。</li> <li>3 自分の感想や意見を、自分の言葉で的確に表現できるようにしよう。</li> <li>4 語句を覚えて使えるようにし、文学史、文法事項なども理解しよう。</li> </ol>	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	国語に興味を持ち、言語活動を豊かにしようとして努力している。さまざまな作品に親しみ理解しようとして努力している。
	話す・聞く能力	自分の意見を筋道立てて発表できる。人の意見を聞きながら、自分との相違点などをまとめることができる。
	書く能力	文章の構成を考え、的確な語句を用い、効果的な表現を取り入れて、丁寧に文章を書くことができる。
	読む能力	語句、文章を正確に読むことができる。筆者の意見や登場人物の心情を理解しながら読むことができる。
	知識・理解	古典文法や漢文の句法などを理解している。文学史の知識や語句の意味・用法などを増やそうと努力している。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、課題提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 課題提出 (取組状況、理解度の確認等) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表等)
------	---

公 民

科目名	単位数	学科	学年
現代社会	2単位	普通科	1年

教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	副教材	改訂版 現代社会ノート(第一学習社)
-----	--------------------------	-----	--------------------

科目の目標	人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1編 わたしたちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の社会がかかえる諸問題について理解する。</li> <li>・青年期の課題について自己の在り方を考える。</li> <li>・現代政治のしくみを理解する。</li> </ul>
	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 第2章 個人の尊重と法の支配 第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	
2 学 期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 第5章 現代の経済社会と私たちの生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と政治経済や国家との関わりについて考察する。</li> </ul>
	第6章 国際経済の動向と日本の役割 第7章 民主社会に生きる倫理	
3 学 期	第3編 ともに生きる社会をめざして	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会において日本の果たすべき役割について考え、自己の生き方と関連させて考察する。</li> </ul>
学 習 の ポ イ ン ト	1 教科書をしっかり読もう。 2 教科書の図版(グラフ・表・写真・絵)をよく見よう。 3 授業内容をよく聞いて理解しよう。 4 新聞・ニュースなどで、世の中の動きや問題点を知ろう。 5 常に「なぜ」という意識を持ち、自分で調べたり、考える習慣を身に付けよう	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	出席状況や授業の態度、ノート点検などを総合的に評価する。
	思考・判断・表現	人間としての在り方生き方について考察する力、公正に判断できるかどうかを定期考査で評価する。
	技能	長期休業中などの課題の提出状況、内容等を総合的に評価する。
	知識・理解	現代社会の基本的な問題についての知識が身についているかを定期考査で評価する。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ 授業態度(真面目な態度、積極的な発表) ○ 課題提出(日常の課題及び長期休業中の課題) ○ 班学習での取組(話合いの態度、積極的な発表)
---------	--

数 学

科目名	単位数	学科	学年
数学I	3単位	普通科	1年

教科書	改訂版 新編数学I (数研出版)	副教材	改訂版 クリアー数学I+A (数研出版)
-----	------------------	-----	----------------------

科目の目標	高校数学の基本を確実に理解するとともに、家庭学習を含めた学習習慣の定着を目指す。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式 集合と命題 第2章 2次関数 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の内容の復習から高校数学へ発展します。</li> <li>・関数のグラフおよびグラフと方程式・不等式の関係について学ぶ。</li> </ul>
2 学 期	第2章 2次関数 2次関数と2次不等式 第3章 図形と計量 三角比 三角形への応用 第4章 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな図形の計量法を学ぶ。</li> <li>・身の回りのデータを分析し、活用する方法を学ぶ。</li> </ul>
3 学 期		

学習のポイント	<p>1 第1章は、基本的な内容ですが、基礎的な計算力がなければ高校数学を理解することはできません。繰り返し演習を行い、確実に定着させましょう。</p> <p>2 第2章は、方程式・不等式と関数のグラフの関係になります。グラフの特徴をつかむと理解しやすくなります。</p> <p>3 第3章は、三角形の辺の長さに関する内容です。正しい図をかくことを心掛けましょう。</p> <p>4 第4章は、データを分析する上で扱う数値について学習します。そのためには、言葉の意味や計算方法を覚える必要があります。</p>
---------	--

備考	この科目は、週当たり4単位時間で、4月から12月まで延べ105時間実施します。
----	---

評価の観点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価				
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容の評価				
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力の評価				
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解の評価				

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	

評価方法	<p>定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認)</li> <li>○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表)</li> <li>○ 小テスト (単元毎の小テストなど)</li> <li>○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)</li> </ul>
------	---

数 学

科目名	単位数	学科	学年
数学Ⅱ	1単位	普通科	1年

教科書	改訂版 新編数学Ⅱ (数研出版)	副教材	改訂版 クリアー数学Ⅱ+B (数研出版)
-----	------------------	-----	----------------------

科目の目標	高校数学の基本を確実に理解するとともに、家庭学習を含めた学習習慣の定着を目指す。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期		
2 学 期		
3 学 期	第1章 式と計算 式と計算 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 複素数と2次方程式の解 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展開、因数分解の公式を用いて計算する。</li> <li>・様々な証明方法について学ぶ。</li> <li>・複素数の四則計算について学ぶ。</li> </ul>
学習のポイント	1 数学Ⅰで学習した基本的な計算が必要不可欠であるため、確実に定着させておきましょう。 2 第1章では、証明方法を学ぶため、正しい解答の書き方をつかみましょう。 3 第2章では、複素数の性質を正しく理解し、計算方法を覚えることが大切です。	
備考	この科目は、週当たり4単位時間で、1月から3月まで延べ35時間実施します。	

評価の観点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価			
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容の評価			
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力の評価			
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解の評価			

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
					○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
------	---

数 学

科目名	単位数	学科	学年
数学A	2単位	普通科	1年

教科書	改訂版 新編数学A (数研出版)	副教材	改訂版 クリアー数学I+A (数研出版)
-----	------------------	-----	----------------------

科目の目標	高校数学の基本を確実に理解するとともに、家庭学習を含めた学習習慣の定着を目指す。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 場合の数と確率 場合の数 確率	・実生活における具体的な例を通して場合の数や確率を学ぶ。
2 学 期	第2章 図形の性質 平面図形 空間図形 第3章 整数の性質 整数の性質	・三角形や円などの基本的な図形の性質を学ぶ。 ・約数、倍数、最大公約数などの基礎的な内容を学ぶ。
3 学 期	第3章 整数の性質 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用	・最大公約数を求める方法のユークリッドの互除法を学ぶ。
学習の ポイント	1 第1章は、和の法則・積の法則などの基本をしっかり押さえておくこと。場合の数ができなければ、確率を理解することは難しいため、しっかりと場合の数の問題を解けるようにしましょう。 2 第2章は、中学校で学んだ性質を基に、三角形や円の性質など平面図形に関する基礎的な内容を学んでいきます。まずはしっかりと中学校で学んだことを復習しておこう。 3 第3章は、既に知っている「約数・倍数・最大公約数」等について学習します。まずはその言葉の意味や求め方を確認しておきましょう。	
備考	この科目は、週当たり2単位時間で延べ70時間実施します。	

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	授業態度・出席状況およびノートや副教材等の提出物状況の評価
	思考・判断・表現	授業時における質問に対する対応や課題等の内容を評価
	技能	定期考査および単元テストから、問題を処理する能力を評価
	知識・理解	定期考査および単元テストから、基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解を評価

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○ 小テスト (単元毎の小テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	---

理 科

科目名	単位数	学科	学年
物理基礎	2単位	普通科	1年

教科書	高等学校 改訂新物理基礎 (第一学習社)	副教材	改訂ネオパルノート物理基礎
-----	----------------------	-----	---------------

科目の目標	電気と磁気、力と運動、波動と音や光、エネルギーの変換と保存について興味・関心を持ち意欲的に探究する態度を身に付けると同時に、それらの基礎的知識を理解し、自然や身のまわりの現象について物理的なものの見方や考え方に習熟する。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第I章 力と運動 第1節 物体の運動 第2節 力と運動の法則	・力を図示し、合力を求める。 ・運動方程式を使いこなす
2 学 期	第II章 エネルギー 第1節 仕事と力学的エネルギー 第2節 熱とエネルギー 第3節 電気とエネルギー	・力学的エネルギー保存則を使いこなす。 ・エネルギーの移り変わりを理解する。
3 学 期	第III章 波動 第1節 波の性質 第2節 音波 第IV章 電気 第1節 電荷と電流 第2節 電流と磁場	・波の性質を理解する。 ・電気概念を習得する。
学 習 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物理では考えることが最も大切です。何事も突き詰めて考える態度で臨みましょう。</li> <li>・実験・観察は物理に限らず理科の基本です。なぜそういう実験をするのか、結果はどうなるのか、自分でしっかり考えながら積極的に取り組みましょう。</li> <li>・毎時間のノートづくりが大切です。板書だけでなく、授業中に気づいたことや大切だと思ったことはどんどん書き込んで、自分だけのノートを作りましょう。</li> </ul>	
備 考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	物理に興味を持ち、物理的思考・概念の習得に努めているか。
	思考・判断・表現	正しい物理概念をもとに考察・計算が出来ているか。
	技能	各種法則を理解し、応用できるか。
	知識・理解	物理の用語・公式を覚え、その意味を正しく理解しているか。

定 期 考 査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 <input type="checkbox"/> 定期考査 (評価の中心) <input type="checkbox"/> ノート提出 (整理状況及び工夫の確認) <input type="checkbox"/> 授業態度 (教科に対して真摯で積極的か。) <input type="checkbox"/> 課題提出 (週末課題及び長期休業中の課題)
---------	---

## 理科

科目名	単位数	学科	学年
生物基礎	2単位	普通科	1年

教科書	改訂 新編 生物基礎 (東京書籍)	副教材	ニューサポート 改訂 新編 生物基礎
-----	-------------------	-----	--------------------

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、自分のからだや自分の周りの環境について理解し、問題を意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生命活動とエネルギー 第2編 遺伝子とそのはたらき 1章 生物と遺伝子	・生物の多様性と共通性を知る。  ・遺伝子とその働きを学ぶ。
2 学 期	2章 遺伝情報の分配 3章 遺伝情報とタンパク質の合成 第3編 生物の体内環境の維持 1章 体内環境の維持 2章 体内環境を保つしくみ 3章 体内環境を守るしくみ 第4編 生物の多様性と生態系	・遺伝子の発現について学ぶ。 ・体内環境と恒常性について学ぶ。 ・ホルモン調節や免疫システムについて学ぶ。 ・植生と遷移について学ぶ。
3 学 期	1章 植生の多様性と遷移 2章 バイオームとその分布 3章 生態系とその保全	・気候とバイオームについて学ぶ。 ・生態系の物質循環、バランスと保全について学ぶ。
学 習 の ポ イ ン ト	1 生物の特徴を知り、どのような進化が起こったのか理解しよう。 2 遺伝子の働きや体内環境を維持するしくみを学び、自分のからだの成り立ちや現象を理解しよう。 3 言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 4 表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	生物に興味を持ち、内容の理解に努め積極的に発言しているか。
	思考・判断・表現	科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	技能	顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行い、実験内容を理解することができるか。
	知識・理解	生物の内容を理解し、正しい知識で生命現象を説明することができるか。

定 期 考 査	1 学期中間	1 学期末	2 学期中間	2 学期末	学 年 末
実 施 予 定	○	○	○	○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度) ○ 小テスト (確認テストなど) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
体育	3単位	普通科	1年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	イラストでみる最新スポーツルール (大修館)
-----	----------------------	-----	------------------------

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、健康・安全を確保して、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	体づくり運動 (通年) 集団行動 新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (ソフトボール) 【女子】 (バレーボール) 体育理論 (スポーツの歴史的発展と変容)	・ 自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立つ。 ・ 自己に適したペースを維持して走る。
2 学期	球技Ⅱ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (サッカー・卓球) 【女子】 (バスケットボール・テニス) 陸上競技 [中・長距離走] 校内マラソン大会 【男子】 8km 【女子】 4km 体育理論 (スポーツの技術、戦術、ルールの変化)	・ 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
3 学期	球技Ⅲ [個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法] 【男子】 (バスケットボール・サッカー・卓球) 【女子】 (バレーボール・バドミントン・テニス) 体育理論 (オリンピックムーブメントとドーピング) (スポーツの経済的効果とスポーツ産業)	・ スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。
学習のポイント	1 自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 2 集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。(5分前行動) 3 互いに協力して自己責任を果たそう。	
備考		

評価の観点	関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで運動しようとしている。公正、協力、責任などの態度を身に付けようとしている。健康・安全に留意して運動をしようとしている。
	思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。
	技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。自己の体力や生活に応じた体力を高めるための合理的な行い方を身に付けている。
	知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定					

評価方法	出席状況、授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○ 出席状況、授業態度・意欲 (授業の参加状況、意欲的でまじめな態度) ○ 運動の技能 (各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度) ○ 体育理論の理解度 (理解度の確認テスト)
------	---

保健体育

科目名	単位数	学科	学年
保健	1単位	普通科	1年

教科書	最新高等保健体育 [改訂版] (大修館)	副教材	
-----	----------------------	-----	--

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てさせる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	1 単元 現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり 生活習慣病とその予防 食事と健康 運動・休養と健康	・健康の考え方の変化、個人 の意思決定や行動選択、 生活習慣病を予防する調和 のとれた生活の実践の必要 性を理解する。
2 学 期	1 単元 現代社会と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 感染症とその予防 性感染症・エイズとその予防 欲求と適応機制 心身の相関とストレス 心の健康のために 交通事故の現状と要因	・個人や社会環境への対策、 感染症の対策、ストレスへ の対処法について理解を深 める。
3 学 期	1 単元 現代社会と健康 交通事故を防ぐために 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法の原理とおこない方	・交通事故の防止策、応急 手当の正しい手順や方法に ついて理解する。
学 習 の ポ イ ン ト	1 心身の健康課題や健康に対する考え方の変化に対応するため、新聞・ニュース等に関心を持ちよく見よう。 2 教科書・ノートは忘れず持参し、板書等はノートに必ず取ろう。 3 提出物は期限を守り、確実に提出しよう。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関心をもち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	思考・判断・表現	個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に思考し、総合的にとらえることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。
	技能	
	知識・理解	健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
		○		○	○

評 価 方 法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○授業態度 (まじめな態度、積極的な発表) ○課題・レポート提出 (日常の課題及び長期休業中の課題)
---------	--

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
音楽I	2単位	普通科	1年

教科書	音楽I Tutti改訂版(教育出版)	副教材	なし
-----	--------------------	-----	----

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	中学校の復習・楽典 歌唱 校歌 少年時代、世界に一つだけの花、上を向いて歩こう 心の瞳 器楽 ギター、発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な内容を身に付ける。</li> <li>・積極的に歌い、歌詞の意味や時代背景、世界各国の歌を知る。</li> <li>・基本的な奏法を学ぶ。</li> </ul>
2 学期	鑑賞 中世・ルネサンス・バロック時代の音楽 歌唱 クラスの合唱曲 器楽 リコーダーアンサンブル 発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックについて学び曲の特徴を知る。</li> <li>・クラスで協力して一つの作品を仕上げる。</li> <li>・基本的な奏法を身に付け、合わせる楽しみを知る。</li> </ul>
3 学期	鑑賞 古典派の音楽(ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェン) 創作 音階を使った創作 器楽 風になりたい 発表会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシックについて学び曲の特徴を知る。</li> <li>・積極的に創作する。</li> <li>・アンサンブルの楽しさを知る。</li> </ul>
学習の ポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的な楽譜の読み方や書き方、演奏に対して、しっかり学ぼう。</li> <li>2 すべての領域において主体性、積極性を持って活動しよう。</li> <li>3 表現する楽しさや合わせる楽しさを感じ、音楽的な視野を広げよう。</li> </ol>	
備考		

評価の 観点	関心・意欲・態度	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に興味・関心を持つとともに、意欲的に活動しようとしているか。
	思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取って創造的な音楽活動の工夫ができているか。
	技能	自己解釈やイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現することができているか。
	知識・理解	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞等できているか。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	<p>授業内の小テスト(筆記)、実技テスト、ノート・ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ファイル(プリントの確認)</li> <li>○ ノート(小テストの訂正など)</li> <li>○ 確認テスト(各学期末に授業内で実施)</li> <li>○ 課題提出(長期休業中の課題)</li> <li>○ 授業態度(まじめな態度、積極性、発表会、練習態度)</li> </ul>
------	---

芸 術

科目名	単位数	学科	学年
美術 I	2単位	普通科	1年

教科書	美術1 (光村図書)	副教材	
-----	------------	-----	--

科目の目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	絵画 基礎、立体感を出すには、ワイヤーフレーム、陰影 まとめ、紙コップを描く デザイン デザインの工夫、名前のデザイン ポスターとは、人権ポスターについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な絵画技法を習得する。</li> <li>アイデアを出しデザインを工夫する。</li> </ul>
2 学 期	絵画 読書感想画を描く デザイン 正12面体の制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体的に表現するおもしろさを味わう。</li> <li>作品の背景を調べ、深く読み取る。</li> </ul>
3 学 期	絵画 抽象画とは、音を表現する 鑑賞 調べ学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージを形に表現する。</li> <li>好きな作品を調べ情報をまとめる力をつける。</li> </ul>

学習のポイント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 絵画技法を習得し、立体的に表現できるようにしよう。</li> <li>2 自分の考えているイメージを形にしよう。</li> <li>3 様々な作品を鑑賞しよさを発見しよう。</li> </ol>
---------	--

備考	
----	--

評価の観点	関心・意欲・態度	美術に関心を持ち、積極的に授業に取り組み、意欲的に表現し鑑賞することができる。
	思考・判断・表現	作品の主題を理解し、アイデアやイメージを膨らませ、表現の方法を工夫することができる。
	技能	技能を習得し、表現することができる。
	知識・理解	授業の内容を習得し、芸術文化への理解を深めている。鑑賞を通して感性を高め表現することができる。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
--------------	-------	------	-------	------	-----

評価方法	作品、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業プリントの提出 (授業内容の理解の確認) ○授業態度 (真面目な態度、積極的な発表など) ○課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○鑑賞プリントの提出
------	---

外国語（英語）

科目名	単位数	学科	学年
コミュニケーション英語 I	4単位	普通科	1年

教科書	Vivid English Communication I NEW EDITION (第一学習社)	副教材	Word Navi 英単語・熟語 3000 (啓林館)
-----	---	-----	-----------------------------

科目の目標	英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に伝えたりする能力を伸ばす。
-------	--

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学期	Lesson 1 You Can Do Something for the Olympics Lesson 2 Stories behind Names Lesson 3 Look Cool on Your Streets	・助動詞、進行形、不定詞、動名詞、現在完了形、受け身を理解し、使えるようになる。 ・教科書に出てきた語句や表現を使えるようになる。
2 学期	Lesson 4 Our Actions Can Make Electricity Lesson 5 Laughter Is the Best Medicine Lesson 6 Take a Chance on You Lesson 7 Japanese Dishes from Abroad	・比較、分詞、関係代名詞、過去完了形、現在完了形進行形の理解を深め、使えるようになる。 ・教科書に出てきた語句や表現を使えるようになる。
3 学期	Lesson 8 The Sphinx in Danger Lesson 9 A Bridge Between Japan and the U.S. Reading Education First!	・関係副詞、強調構文、助動詞+受け身を理解し、使えるようになる。 ・教科書に出てきた語句や表現を使えるようになる。
学習のポイント	1 積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもって取り組もう。 2 英語が使えるようになるために、基本例文をしっかり習得しよう。 3 基礎・基本の定着を図るため、必ず予習をして授業に臨み、学習に集中しよう。 4 教科書、ノート、辞書は忘れず持参し、説明をよく聞き、ノートは必ず取ろう。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業中の音読、ペアやグループでの会話等に積極的に取り組んでいる。
	外国語表現の能力	授業で学んだことを用いて、正しい英文を作り、伝えることができる。
	外国語理解の能力	質問・依頼・指示に適切に応じることができる。
	言語や文化についての知識・理解	教科書で取り扱っている内容について理解している。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な発表、ペアワーク、グループワーク) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○ 小テスト (単語テスト、地道な取組状況)
------	--

外国語

科目名	単位数	学科	学年
英語表現 I	2単位	普通科	1年

教科書	Revised Vision Quest English Expression I (啓林館)	副教材	Word Navi 3000
-----	--	-----	----------------

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。
-------	---

	学習項目	学習のねらい
1 学期	Lesson 1 文の種類 相づち、聞き直し Lesson 2 文型と動詞 言い換え、話題の転換 Lesson 3 時制 計画、予定 Lesson 4 完了形 原因・理由 Useful Words & Phrases	・文の種類、文型、時制、完了形について理解を深め、使えるようにする。 ・教科書で学んだ語句や表現を定着させる。
2 学期	Lesson 5 助動詞 許可、依頼 Lesson 6 受動態 喜び、驚き Lesson 7 不定詞 感謝、謝罪 Lesson 8 動名詞 勧誘、申し出 Lesson 9 分詞 賛成、反対	・助動詞、受動態、不定詞、動名詞や分詞を理解し、使えるようにする。 ・教科書で学んだ語句や表現を定着させる。
3 学期	Lesson 10 関係詞 説明 Lesson 11 比較 意見、主張 Lesson 12 仮定法 助言、提案	・関係詞、比較、仮定法を理解し、使えるようにする。 ・教科書で学んだ語句や表現を定着させる。
学習のポイント	1 基礎・基本の表現力の定着を図るため、必ず予習をして授業に臨み、学習に集中しよう。 2 辞書を活用しながら、自分の考えや意見を英語で作成し、意欲的に発表しよう。 3 ノートや課題、プリントなどは必ず期限内に提出しよう。 4 日々の小テストは、家庭でしっかり勉強をして臨もう。	
備考		

評価の観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業中の活動に関心を持ち、間違いを恐れず、積極的に表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
	外国語表現の能力	学んだ文法や表現を使って、文章を書いたり話したりしようと努力している。
	外国語理解の能力	英文を聞いたり読んだりして、正しく理解することができる。
	言語や文化についての知識・理解	様々なトピックについて内容がわかり、学んだ文法を理解している。学習した内容を知識として定着させようと努力している。

定期考査 実施予定	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
	○	○	○	○	○

評価方法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ ノート提出 (予習・復習及び整理状況の確認) ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な発表、ペアワーク、グループワーク) ○ 課題提出 (日常の課題及び長期休業中の課題) ○ 小テスト (単語テスト、地道な取組状況)
------	--

情 報

科目名	単位数	学科	学年
社会と情報	2単位	普通科	1年

教科書	最新社会と情報 (実教出版)	副教材	
-----	----------------	-----	--

科目の目標	情報の基礎・基本の知識と技術を習得させ、情報産業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。
-------	---

	学 習 項 目	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 情報社会とわたしたち 第1節 情報社会 第2節 情報社会の個人 第1節 情報とメディア 第2章 情報機器とデジタル表現 第1節 デジタル情報機器 第2節 デジタル表現	・情報社会における私たちの役目を考える。  ・デジタルのしくみを知る。
2 学 期	第3章 表現と伝達 第1節 表現の工夫 第2節 表計算ソフトの利用 第3節 プレゼンテーション 第4節 WEBページの利用 第4章 コミュニケーションとネットワーク 第1節 コミュニケーション 第2節 ネットワーク	・伝達方法の工夫を学び、コミュニケーションについて考える。  ・ネットワークのしくみを知る
3 学 期	第5章 法規とセキュリティ 第1節 情報の管理・保護に関する法律 第2節 情報セキュリティ 第6章 情報社会と問題解決 第1節 情報システムと人間 第2節 問題解決	・情報の管理方法や法律について学び、対策について考える。 ・情報を活用した問題解決を行う。
学 習 の ポ イ ン ト	○ 情報の授業で培った問題解決能力や情報リテラシー能力をより高めるために、探究の時間や各教科での実践することを心がける。 ○ 分からないことは周囲の生徒や教師にすぐに質問すること。	
備考		

評 価 の 観 点	関心・意欲・態度	情報機器に興味をもち、主体的に活用方法を考えられる。
	思考・判断・表現	情報の正誤判断を行い、自分の伝えたい形に処理し表現できる。
	技能	自分の伝えたい形に情報を処理し、他人に発信することができる。
	知識・理解	情報リテラシーやモラルを身につけられている。 コンピュータの処理方法について理解している。

定期考査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実施予定		○		○	○

評価方法	定期考査、授業態度、実習等を総合的に評価する。 ○ 授業態度 (真面目な態度、積極的な発表) ○ 実習 (ソフト使用法の理解、個性的で意図を理解した作品)
------	---